

# 公益信託世田谷まちづくりファンド

## 第23回助成事業 審査講評

### まちづくり活動部門

#### 【1回目応募グループ】

##### <1 おはなし会ボランティア『ブークとスピン』>

- ・「おはなし会」の活動は参加者の「心を豊かにする」ことが期待されますし、手法や技術の強化が活動の質を高めることも理解できます。一方、申請書に記されているような「安全な生活を送れる街づくり」に貢献するためには、グループメンバーと参加者の関係だけではなく、参加者相互間の関係づくりにも重きを置いて1年間活動していただきたいです。この点、すでに深沢児童館を舞台に定期的活動が行われていることは大きなアドバンテージだと思われます。
- ・これまで1年間の活動の積み重ねは素晴らしいと思いました。思いをひとつにしているメンバーの創造的エネルギーの賜物ですね。そういうコアメンバーの質の高い活動に対して、仲間を広げ継続的な活動を展開する、ということはまた別の工夫が必要です。この助成を活用して活動の場を広げる機会とともに、会員を広げ継続させる工夫もつかんでください。
- ・活動初年度から非常にクオリティの高い完成度のワークショップを実施されており、感銘を受けました。素晴らしいメンバーですね。いまは、コンテンツを増やし、経験を深めていく段階だと思いますが、そのうち格段に活動範囲が広がるはずです。期待しています。
- ・子どもや高齢者に向けて、創意工夫をされたおはなし会の活動を展開されていてとても素晴らしいと思います。  
「将来的に高齢者と子どもの交流を図る場を提供したい」とお示しされているように、多世代をうまくつなぐ活動につなげていく点がとても重要と考えております。まちづくりファンドのネットワークを活用しながら、他団体との連携を進めて、いろいろな地域での活動や多世代交流に広げてほしいと思います。

- ・小学校でのお話会から高齢者対象のお話会まで、幅広く活動内容を進展させている。また、音楽や画像を取り入れた活動は、いかにして聞き手を楽しませようかと、日々、努力している活動の様子が伺われ、評価出来る。活動の実績もあり、今後を楽しみにしたい。
- ・既に深沢地域を対象に豊かな活動を展開されていることがよく伝わりました。乳幼児から高齢者まで、様々なターゲットを対象に活動されているとのこと、活動の幅の広さを感じます。一方で、この活動を足がかりに、どう世代間の繋がりを作ろうとされているのか、その具体的な方法を教えて頂けるとより説得力が増すと思います。発足1年でここまで頑張られたというのは素晴らしと思います。たとえば地域共生のいえを活用されるなど、地域の他世代交流の核となっている場を使い、仲間や協力者を増やしながら、ぜひ引き続き活動を広げていって下さい。
- ・すでに定期的な活動の場を持っていて、今後の活動の継続性が感じられます。他団体とも協力し多世代交流が実現されることを期待します。
- ・発足して1年で定期的な活動をするまでに至ったことに敬意を表します。今後、子どもとの交流など、多世代の交流につながっていく活動になることを期待しています。

## < 2 Morning Project Samurai-Setagaya Division - >

- ・申請書と審査会でのやりとりの中からは、「世田谷にはこんな地域課題があり、ITを使えばこんなにうまく解決される」あるいは「活動団体にはこんなニーズがあり、ITによってこんな支援ができる」といった具体的なイメージが持つことができませんでした。最初からセミナーや講習会等を開催して人が来るのを待つのではなく、まずは現場に出向いて地域課題やニーズを発掘して、見定め、ITを通じたソリューションを何通りも考えてみるのがスタートとして相応しいと思います。その過程を経れば、セミナー開催に際しても、どのようなキャッチフレーズを用いて、誰に呼びかければよいのかが見えてくるのではないのでしょうか。
- ・まずはまちづくりファンドに応募していただきありがとうございます。みなさんのような活動をしている若者が地域のまちづくりに目を向けたこと自体がうれしいです。普通の人々の暮らしの日常的な何かについて、新しい技術はどのような成果を生み出すのか、私も見てみたいです。対象に対する成果についても、ぜひ検証してもらいたいです。三軒茶屋、下北沢を拠点にしたときにつながる可能性のある団体や活動に、自分たちからアプローチして行ってください。期待しています。

- ・子どもからシニアまで、「プログラミング」に触れることで喜んでくれる人は（潜在的に）とても多いはず。既存の地域共生の家やNPO、生活工房など公共施設で展開できるような手法があると広がりそうです。非常に可能性のひろがるテーマですので、ぜひ活動を継続してください。
- ・今回世田谷をフィールドに活動されることで、「世田谷区内のNPOやボランティア団体へのIT支援につなげたい」と言われている点に非常に期待しています。地域の団体との接点を積極的に持っていただき、世田谷の地域課題とIT技術がマッチングした新しいコンテンツが生まれることを期待しています。
- ・「ソフトウェアの開発」に関する専門学校などは授業料が確かに高額になり、区民が勉強する機会は遠のいている。その状況下でプロ・アマ・未経験者が勉強できる場を提供することは有意義な活動だといえる。特に、活動を通して区内の他のNPOやボランティア団体と連携したり、その支援をしたりすることは大変評価出来る。また、異業種交流なども興味もてる。是非、世田谷での活動を具現化していく様子を見守りたい。
- ・ユニークな試みであり、また他地域でのトライを世田谷でも展開されたいという意思を感じ、大変嬉しく思いました。一方で参加者をどう集めるのか、支援先となるNPOやボランティア団体の課題をどう発見し、自分たちの得意とどう接続するのか、そうした具体策をよく掴むことができませんでした。良い試みだとは思いますが、得られた成果がどう世田谷のまちづくり、あるいはまちづくり活動に取り組む他団体のスキルアップにつながるのか、もう少し理解できるとよかったです。しかし普段まちづくりとは縁遠い、新たな担い手が期待できるという意味で、投票させて頂きたいと思います。ぜひ、「自分たちの得意を活かす」とこと、「地域、あるいは団体が求めるニーズに応える」という点でバランスをとった活動を展開して頂きたいと思います。
- ・ユニークな活動ですが、まず世田谷での足場づくりが当面の課題でしょう。このまちづくりファンドをネットワークづくりに最大限に利用してほしいです。みなさんの活動がどう地域貢献につながったか1年後が楽しみです。
- ・世田谷区内の様々な市民活動団体を支援するアプリを開発していただきたいと思いました。既に関係をもっている団体があるということですが、今後のさらなる展開を期待しています。

### < 3 ゆるとびあ >

- ・遙か以前から言われ続けていることですが、地域の中で若者が集まれる場所自体が極めて少ないのが現実です。ましてや社会からの疎外感を抱く若者達が気軽に集える場所となれば探すのが困難であり、この企画が必要な所以です。「ゆるさ」がキーコンセプトである点は興味深いですが、この「ゆるさ」を上手くマネジメントしてゆくことが大切になってくるでしょう。定期的な場を設けることが当面の活動になると思われますが、将来的には具体的「場所」を目指せるとよいと思います。
- ・社会的に孤立し生きづらさを抱える若者に関わる活動が増えてきました。その中で当事者たちが、自分たちが必要なことを自分たちで企画し運営していく活動は、とても価値のあるものだと思います。仲間の輪が広がり、自信を取り戻し、さらに別の場所へと種を運ぶ人が育つよう願っています。「どこにでもふつうに居場所がある」というのは究極の理想かもしれませんが、必要とされる人たちのところへ自分たちが出向いて行ってください。それに向けた具体的なプログラムを研究してください。
- ・非常に重要なテーマです。若者と同じ目線で気負わず取り組んでいこうという姿勢も好感が持てました。中高生や若者など顔の見える関係が一人ずつ増えていくことが何より大事と思いますので、ぜひ地道に続けてください。
- ・「若者の社会的孤立」というとても重要な課題に、同じ若者ならではの視点で取り組まれている点に説得力を感じました。また、年間を通して多彩なプログラムを計画されていますが、それをたった3人のメンバーで進めていかれるというそのパワーに感心いたしました。是非永く続けていただきたい活動だと思いますので、今後仲間を増やす事も視野に入れながら無理なくできる体制を構築していただければと思います。
- ・若者の居場所づくりや引きこもり対策は現代のおおきな課題である。その課題にTVゲーム等を通して「だべり会」を開くことから若者の集まる機会を設けたことはユニークな企画で評価できる。さらに、料理教室や音楽祭の開催まで活動を進展させ、若者の主体的で積極的な社会参加のきっかけづくりをしてきたことは有意義な活動である。是非、今後も活動に携わるメンバーを増やししながら独自の組織力を高めて欲しい。
- ・申請者ご自身の原体験に根差した取り組みに共感を覚えました。また活動を進めてい

こうというエネルギーも感じました。一方で、「ゆるとびあ企画」として記載されている4つの試みが、どう自己肯定感に繋がっていくのか、そのストーリーがよくわかりませんでした。引きこもりの若者と、ゆっくりじっくり付き合っただけのために、地域での足場をしっかりと作って頂きたいなと思います。

- ・若者の居場所づくりは現代社会の早急な課題であり、ご自分の体験からこの問題に取り組んだみなさんの姿勢を高く評価しました。しかし大きな社会問題ですからファンドの他の若者グループと協力しあい、ゆるく楽しく息の長い活動にしてください。
- ・グループの名称「ゆるとびあ」のとおり、無理のない範囲で企画・運営しながら、ゆっくりと体制整備や居場所づくりをしていくと良いと思います。

#### < 4 早稲田大学卯月ゼミナール世田谷班 >

- ・農地を媒介とする地域コミュニティづくりという考え方はよいと思いますし、世田谷にとって農地は地域の資源であるとの認識が広がれば素晴らしいことです。冬のイベントがこの企画の核であるのは確かですが、それに至るまでのプロセスが肝要で、そこで多くの地域の人々の参加の下、話し合ったり、共同作業をしたりすることが「新しいコミュニティ」の創出に繋がると思います。審査会当日もお話しましたが、イルミネーションは魅力的なコンテンツなので、地元企業・商店の協賛や寄附を得るのも十分可能だと思うのでチャレンジしてみてもいいのではないでしょうか。
- ・パートナーの農園があるというのは素晴らしいことです。しかし今回もっとチャレンジしていただきたいのは、パートナーとしての新しい専門家集団（アート&デザイン）を獲得することです。地域との交流の「質」は、そこで決まってくるのです。コミュニティデザインを学ぶ学生とアートやデザインを学ぶ学生の接点をつくるためのリサーチ、ヒアリング、ワークショップなども企画する必要があると思いました。また、農地を使うことが都市農業の何に寄与するのかについても、もっと知りたいところです。
- ・コンセプトが明確で、とてもよい企画です。こまめに地域に足を運び、近隣のネットワークと協力を得ながら進めてみてください。きっとさらに発展した3年目を迎えられると思います。
- ・区内に点在する農地は、世田谷区の名風景の1つであり、区民が農地に関わりその魅力を知る機会があることがとても大切だと思います。今後も活動の成果を広くPR

していただき、農の資源を区民が再発見できるような機会を広げていただくことを期待しています。また、区内に点在する他の農地が呼応してこのような活動が広がっていくと素晴らしいと思ました。

- ・都会に残る貴重な農園を新たな視点で活用し、農園の存在価値を高めると同時に、地域のコミュニティーの場として活用する試みは、大変評価出来る。特に、農園経営者と若者がしっかりと手を組み、地域の大学等に働きかけイベントへの参加者、見学者が多いことは、その充実度を示している。地域に愛着をもつ若者たちが増えることが期待でき、他の見本となる活動だといえる。
- ・すでに活動の実績を積み重ねられていて、また昨年度の振り返りを踏まえた提案となっていることについて、好感を覚えました。申請書をお読みして、イベントに向かって地元の方たちとどのようなコミュニケーションを進めていこうとされているのか、その点を具体的に書き込まれているとより良いと感じました。Lights in Farmの実施の際に、幅広い参加者に来て頂くためにも、事前の交流イベントの中身をお伝え頂けるとよかったですと感じます。魅力的な内容ですし、共感を得る手段として、寄付の開拓を試みるというのも一案だと感じます。若い皆さんのトライに期待します。引き続き頑張ってください。
- ・都心で農地を守り続けている農園主の熱意と学生さんにより、ライトイベントが年々地域に浸透しているのは、都心での農業経営と、大学と地域の結びつきという二つの観点から新しいモデルケースの成功例ともいえます。今後より日常的な営みに注目したいと思います。
- ・区民に都市農地を知ってもらい、地域に大変喜ばれているイベントで素晴らしいと思います。ただ、非日常的なイベントだけではなく、日常的に都市農地の恩恵を市民に感じてもらう活動もすると良いと思います。

## < 5 特定非営利活動法人 世田谷グリーンソサエティ >

- ・小学校を地域に開くことが困難になってしまった現代において、本企画は大きな意義を有するものです。法人だけで校内の緑の維持・管理を行うのは大変でしょうし、地域の方々を巻き込むことや、児童をプレイヤーとして加えるために学校や先生方との関係づくりも大切になってくると思われれます。世田谷区内に小学校と地域の素晴らしい協力関係を築いている事例は少なからずありますので、そういった場所に視察に行くのもよいかも知れません。

- NPO法人を設立されたとのこと。ぜひ息長く、地域の緑の創出活動を担っていただきたいです。烏山地域にはすでに多様な人材と活動が育っていますし、歴史もあります。そういった地域のポテンシャルを活かせるよう、たくさんのアンテナを立ててください。公共施設には花壇などをつくっても管理運営ができずに残念な場所になっているところも確かにあります。世田谷トラストまちづくりから他の成功事例（参加のデザイン工具箱や他の小学校事例）なども紹介してもらって、見学してみてください。そして小学生や保護者や先生たちといっしょに、植物との楽しい関係をつくってってください。
- 明確な目的があり、実直な活動を重ねられている印象でした。そのぶん、若干クローズドにも感じられました。一回しか参加しない人、通りがかりの人など、多くの人の参加がゆるされるような雰囲気があると、さらに広がるのではないかと感じました。
- 小学校と連携して地域の人たちがみどりづくりを行うことは、子どもの教育にも効果がありすばらしい活動だと思います。是非、無理なくできるところから永く楽しみながら続けていただきたいと思います。また、父兄や、町会自治会などの地域の人たちに開かれた活動に広がり、定着される事を期待しております。
- 学校の花壇には多くの草花が咲き、校庭のわきには桜や多くの樹木が植えられているものである。しかし、その管理は難しく、学校にとっておおきな課題でもある。その課題に正面から取り組み、学校内の緑化を維持、推進を支援している活動は大変評価できる。特に「学校をグリーンインフラ」の一つと考えることは共感もてる。是非、PTAや学校教職員、児童はもとより、教育委員会や区内の緑地保全関係団体との連携をさらに広めながら活動することを期待したい。
- 学校という地域資源を上手くいかした活動を想定されているという意味で、意義深い活動だと思います。学校との関係、地域との関係がどの程度今後構築されていくのか、若干不安に感じました。意欲的な活動だと思いますし、きっと地道に活動を展開されていくとは思いますが、来年助成を申請される際には、学校や地域とどうコミュニケーションを深められたのか、具体的な成果を教えてくださいたいと思います。
- みどりの活動を通じ、学校と地域との橋渡しの役割を貴団体が担っていただけることを期待します。

- ・学校の子どもたちや地域の方々の参画を促しながら実施していただき、地域に愛される緑の学校になることを願っています。

## < 6 特定非営利活動法人 せたがや移動ケア >

- ・今後さらなる増加が見込まれる「交通弱者」の移動を楽にする支援サービスは、籠もりがちな方々を身体的・精神的に元気にする可能性があり、時宜にも適っています。その事業の基礎となる今回の調査研究は、大きな意義があると考えます。調査活動を通じて、今後の事業を豊かにするような調査対象者との関係づくりはもちろん、このようなサービスの存在を知らない方々を発掘し、利用してもらえるようにする機会にもしていただけたらうれしいです。
- ・世田谷の移動サービスについてのこれまでの長い活動の成果に敬意を表したいと思います。そのうえで、今後さらなる移動の自立と自由をめざすための目標や仕組みの提案に向けての大事な調査です。調査票作成には、様々な視点から充分にアドバイスをもらってください。個人的には、移動ケアとその他のケアとの関連などについても調査ができるとよいのではないかと感じました。移動・交通と生活支援など、からみあった問題点の解決策を探るために必要かもしれません。区に対する働きかけの項目のひとつになるかもしれません。
- ・貴重なデータが取得できそうですので、結果に期待します。質的データもまとめられるとさらに実態がわかるのではないのでしょうか。しっかりした調査になりそうですから（逆にその点がまちづくりファンドで支援しなければならない理由として弱かったのだと思いますが）、他の助成も受られる可能性があります。
- ・協議会の設立を視野に入れ、関係者との情報共有を計りながら調査を進め、一緒に課題解決を進めていただければと思います。
- ・高齢者社会を迎え、高齢者や障がい者にとって、1人では外出できない「移動困難者」への対策は急務である。その為の基礎データ集めを行い、関係諸機関へ情報を与え、連携しながらこの課題の解決を図る活動は大変有意義である。なお、調査費は多額になるので大変だと思うが、ボランティアを募ったり、組織の拡大を図ったりすることで、なんとか対応して欲しい。また、調査後の他団体との連携による具体的な活動を期待できるので、是非、その具現化に努めてほしい。
- ・調査実施にあたっては、明確なメンバーシップのもとでの調査チームをつくり、推進力を持って取り組んで頂きたいなと思います。意味あるデータ分析ができないと、労多くして実りがなくなってしまう危険性もあると感じます。ぜひ移動ケアさんだからこそ



できる調査をして頂きたいと思いますし、その結果をロビイングに取り組んで頂きたい  
と思います。ニーズに立脚した活動を力強く展開して頂くためにも、この機会を地域の  
実態を正確に把握していただく契機にして頂ければと思います。

- ・移動の自由の確保は障害者や高齢者のQOLにとって重要な問題です。調査だけで  
も大変でしょうが、集めたデータの分析と課題の発見、関係機関、行政への提言ま  
でしっかりとやっていただきたい。
- ・現状の課題を調査して把握することからスタートすることは大変良いことだと思  
います。調査後に関係機関や事業者とどのように協働して活動していくか、その計画  
もあわせて検討してください。

#### < 7 一般社団法人 凸凹Kidsすぺいす >

- ・障害を持つ子ども達の放課後デイサービスは、彼らの将来の自立生活のためだけで  
なく、親の負担を軽減する上でも必要不可欠ですね。まだスタートしたばかりで、  
軌道に乗るまで慌ただしい日々が続くかも知れませんが、どうか無理をなさらずに  
活動して行ってください。
- ・活動拠点の基本的な整備は大切です。今回の助成金では充分ではないと思いま  
すが、他の資金獲得の仕組みもいろいろ検討して充実させる努力を続けてください。  
そして、拠点の空間のイメージや魅力は、そこに人々を引き寄せます。もちろんそ  
こで過ごす子どもたちにも影響を与えます。ファンドの助成をきっかけにして、フ  
ァンド助成を受けて卒業した活動も含め、さまざまな人の知恵や専門性を取り入れ  
協力してもらえる関係を築いてください。通ってくる子どもたちのためにも地域  
中の心地よいスペースをめざしてください。
- ・拠点運営を含めた意欲的な活動ですから、ぜひ応援したいと思います。日々の対応  
や備品の必要だけではなく、新しい夏休みプログラムなど将来的な運営に役立つソ  
フトの開発に意欲的に取り組んでほしいと感じました。
- ・発達障害や知的障害の子どもたちの自立に向けた療育施設の運営をされているとい  
うことで、すばらしい活動だと思います。この取り組みを地域に伝え、理解者、協  
力者を増やしながらか進めていただければと思います。
- ・障害者のソーシャルスキルトレーニングは多様な場面を想定し、多くの人々が関わ  
りながら進められるべきもので、本活動はその推進に努めている点で大変有意義な

ものである。活動内容も「買い物体験」や「クッキング」、「季節毎のイベント」など多岐に渡り、また、活動日の多さや受け入れ児童・生徒の多さなど評価できる。これだけ多様な活動では、今のスタッフの人数は多いとはいえないと思う。是非、今後も他の組織との連携を通して、活動を進展させることを期待する。

- ・活動に真摯に取り組まれている様子を感じました。ご自身の経験を生かし、ひとりひとりの子どもたちの「生きる」や「暮らし」に寄り添う姿に感銘を受けます。現在活動メンバーが3名ということですが、おそらく現場の子どもたちのことを真摯に考え向き合うことに精一杯で、組織づくりや仲間づくりに手が回っていないのではないかと想像します。しかし、活動を継続させる、組織を発展させるため、ではなく、障がいを持つ子どもたちがひとりでも世田谷で安心して暮らせるために、仲間を増やし活動基盤をつくることはとても大切なことだと思います。世田谷まちづくりファンという機会を積極的に活かしていただき、活動を発信し、周囲を巻き込みながら活動を進めて行って頂きたいと感じます。
- ・少人数のスタッフで多様な活動を綿密に実行されていることに敬意を払います。今後はこのファンでの交流なども利用し、他団体の協力や地域の人に支えられる場づくりに発展させてください。
- ・助成内容が備品の占める割合が多く、今後の活動方針が見えないのが残念に思います。活動スペースの充実が図れた後は、地域(商店街等)とのつながりを少しずつ持ち、地域の活動に広げていってください。今後の展開に期待しています。

## < 8 いいおかさんちであ・そ・ぼ >

- ・二子玉川のきらびやかな商業地や高層建築群のほど近くに、このような場所が存在することは驚きであり、また素晴らしいことです。できるだけ沢山の方々はこの場所の恵みを享受していただきたく思います。そのため、申請書にも自ら課題として記されていましたが、期待したいのは運営メンバーの拡大です。世田谷には長年にわたり活動拠点を維持・運営している団体も数多く存在するので、それらの場所に視察に行くことをお勧めします。
- ・ころにあつたらと、たくさんの方から望まれている場所ではないでしょうか。国分寺崖線や丸子川、五島美術館や多摩美術大学などもあってロケーションもとてもよいところですので、場所や地域の魅力までも取り込んだ活動に育っていくことを期待しています。多世代の居場所となるには時間も必要です。そのためには担い手(運営スタッフ)を少しずつ広げる「窓」を開けながら、じっくり地域との関係を

つくっていきましょう。また、平日開催のヘステップとして、イベント形式ではないスタイルも実験してみてください。

- ・規模は小さくとも貴重な活動と感じました。企画の担い手が増えることで、回数増加や参加者のひろがり生まれそうです。
- ・地域に開放された空き部屋が、多世代のつながりを生み出し、地域の中に絆が広がっていくすばらしい活動だと思います。少しずつ自己資金を得ることも視野に入れながら末永い活動になることを期待しています。
- ・地域の空き部屋を利用して、子どもや高齢者などが集い語り、楽しく遊べる場をつくる活動は大変有意義である。また、外へ看板を出したり、口コミで活動を広めたりする工夫は素朴な広報活動として好感がもてる。内容も多岐に渡り、いろいろな遊びや体験を通して多世代交流の場ともなっている。高齢者、子育て、空き部屋など今日的な課題の解決に向けて、是非、区内に広めたい活動例である。
- ・参加者の主体性を上手く活かしながら、活動を展開されているなど感じます。まさに他世代交流の場になっていると思いますし、他にはない価値を発揮していると思います。地道でユニークな取り組みを継続していただきつつも、「いいおかさんち」から外に出る、あるいは発信する、あるいは世田谷まちづくりファンドを通じた繋がった団体とコラボレーションの企画を展開していただくなどの取り組みに、今年度はトライして頂きたいと感じます。
- ・はじめの一步から始めて、すでに多世代交流の場として機能しているのは素晴らしいと思います。空き家、空き部屋活用の実践例として対外的なアピールを強めれば、課題である運営者の増加も望めるのではないのでしょうか。
- ・今後も企画・運営に参加するメンバーが増えていくと良いですね。そのために地域への発信の仕方をさらに工夫すると良いと思います。

## < 9 みどりの会 >

- ・この活動が伝統文化や健康をテーマとする単発的イベントにとどまってしまうのはもったいないと思います。1,2回の集まりで文化を定着させたり、文化を媒介とするコミュニティを形成したりするのはなかなか難しいことです。地域の中で講師を調達するというのはいい発想ですし、メンバーの負担増は避けつつ、たとえ理想的ク

オリティに達せないとしても、審査会でお話しされていたように小学校に出向くなど、少しずつ活動を拓げていただければと思います。

- とても魅力的な場所になっていると思いました。国際交流会館という地域資源があることも、日本文化をテーマにした活動に弾みをつけていますね。こうしたテーマ性を大切にしつつ、多世代だけでなく多国籍にもチャレンジしていただきたい内容です。参加費をとっているので継続性があると思います。外国人ゲストなどの新しい講師陣もぜひ獲得してみたいと思います。
- 丁寧な場づくりを重ねていらっしゃる印象でした。質の高い体験を地域でできることはとても貴重だと思います。経験とネットワークが蓄積されたら、さらに企画の深さと幅を広げてほしいと思います。
- 地域を文化でつなげる活動を精力的に進められています。今後も地域の方々への周知を図りながら参加の輪をどんどん広げていただけたらと思います。
- ストレスの多い現代社会でのおおきな癒しの一つとして日本の文化・伝統に接している人々が多いが、その機会が少ないのが現状である。そんななか、本活動はその目標でもある「健康的に広がりのある暮らしづくりのきっかけ」に十分応えたものとして評価できる。音楽や茶、着物等々、多様な日本の文化に世田谷の地で接することで、地域に失われがちな文化・伝統が根付くことは、世田谷区内に残る文化・伝統の保護にも繋がることも期待であり、今後も楽しみである。
- 地道な活動を展開されていると思います。内輪な活動になりがちな分野だと思いますが、既に一定の地域内での広がりが生まれているということ、活動実績を伺い感じました。若者であっても日本文化に関心を寄せる人はいると思います。今後も発信力を高めて、世代を超えた取り組みを展開して頂きたいと思います。
- やや高齢者向けの活動という印象を感じましたが、多世代の地域の人たちとの交流を工夫し、支え合うまちづくりを実現させてください。
- 既に千歳小学校との連携を検討しているようですが、地域の学校やその他の施設運営者と連携した地域のまちづくりにつながる取り組みを目指してください。